



東京有價證券現市場創設請願、理由



114  
A 3732



東京有價證券現市場創設請願ノ理由

引及、延取引ハ共ニ交換的賣買ニシテ普通商工ノ  
 店舗ノ勿論何人モ隨意ノ場所ニ於テ自由ニ為シ居レル  
 賣買方法ナリ又之ト同一ノ行為ヲ普通市場ナル賣買兩  
 者ノ多數集合スル處ニ於テ行フト得ルモ亦自由營  
 業ノ範圍内ニ屬シ法律上毫モ之ヲ拘束セサルナリ其ノ  
 直ト延ト異ナル所以ハ直ハ物ト代金ト即時交換ヲナシ  
 延ハ銘柄若クハ見本ニ據リ時價ヲ以テ賣買ニ時日ヲ定  
 メテ交換スルニ在リ故ニ直取引ニ於テハ賣ル者ハ物品  
 ヲ供出シ買フ者ハ代金ヲ携帶スルニ非サレバ賣買手合  
 ヲ為スヘキモノニ非ス然ルニ明治廿六年勅令第七十四  
 号第十二條ニ直取引ノ受渡ヲ五日以内ト規定シアルハ  
 取引所ノ取引ニ特殊ノ便宜ヲ與ヘラレタルモノニシテ

大正十一年四月  
隈 侯爵 寄贈

之カ為ノ高慣習ト直取引本来ノ性質トハ全ク破潰セラレタルモノト云ハサルヲ得ス

定期取引ハ今ヲ以テ後ノ價格ヲ豫測シ即チ一ヶ月乃至三ヶ月ノ後或ル物件ノ相場カ騰貴スヘシ又低落スヘシト互ノ胸臆ニ豫定シタル價格ヲ以テ賣買ヲ約シ限月限日ニ至リ物件ヲ授受シ又ハ此間ニ於テ轉賣買戻シヲナシテ損失ヲ避ケ利益ヲ謀リ差金ヲ授受スル等其操縦ヲ自在ナラシメノ頗ル正順ヲ得サル方法ナルカ如シト雖此多年我國ニ行ハレ一大生業トナレルヲ以テ法律上之ヲ認許シ其弊ノ生シ易キモノアルヲ以テ特ニ地區ヲ劃定シテ特許ヲ與ヘ規正拘束スル所アルモノナリ然ルニ現株式取引所内ノ直取引ニ於テハ銘柄ニ據リ賣買手合ヲ為サシメ之ヲ取引所ノ帳簿ニ記載シ手数料ヲ

徴スルノミニテ取引ヲ結了シタルモノトナシ而シテ賣買者タル仲買人等ハ為替直及ヒ日歩ヲ協定シ其為替直ヲ標準トシテ先ツ賣買上ノ損益勘定ヲナシ且ツ貸借ノ名義ヲ以テ日歩金ヲ授受シ以テ賣買ヲ繼續シ隨時轉賣買戻ニテ為シテ利トシ損トスルヲ例トス名ハ直取引ナレ氏其實定期類似ノ取引ヲ為シ賣買者ハ證據金ヲ要セス取引所ハ税金ヲ免カレ投機者ハ為メニハ頗ル便宜ノ方法ト謂フヘシ去レハ取引所法第廿五條ノ規定ハ取引所外ニ於テ定期ト同一又ハ定期類似ノ取引ヲ為スコトヲ得ストアルヲ以テ取引所内ノ直取引ハ格別ナリトノ解釋ヲ下シ其筋ニ於テ不問ニ措カルモナルヘシト雖氏取引所ノ役員カ勅令ノ規定ニ違背シ故テニ現物ノ受渡ヲ為サシメヌ空物ノ預ケ合ヲ默許スルカ如キハ明カ

ニ其職責ヲ怠ルモノト云ハサルヲ得ス  
又米穀取引所内ノ直取引ヲ見ルニ市場ニハ肥後米又ハ  
何々米トカノ掛ケ札アレ氏全ク空名ニシテ其賣買呼ビ  
聲ニ彼此ノ區別アルコトナク單ニ米券何枚ト云フ賣買  
手合ヲ為サシメ之ヲ取引所ノ帳簿ニ記載シ米券ハ勿論  
一粒米ノ授受ヲモ為サシメス賣買約定高ニ應シ手数料  
ヲ徴スルノミニテ取引ヲ結了シタルモノトナセリ而シ  
テ賣買者タル仲買人等ハ米券売枚ニ付手附金貳圓ト定  
メ毎日午前十一時立會ノ定期相場ヲ平均シ之ヲ標準ト  
シテ釐毛ノ差ヲ争ヒ手附金ヲ勝者ニ没収スルヲ例トス  
是レ直取引ノ名義ヲ以テ定期相場ノ高低ヲ賭スルモノ  
ニシテ前者ニ比シテ尚一層ノ醜態ヲ演スルモノナリ  
尚定期市場ノ實相ヲ直言スレハ今ノ取引所ハ真ニ投機

者ノ巢窟ニシテ各種異様ノ人物カ相集リテ一攫萬金ノ  
奇利ヲ博セリトスル市場ニ過キサレハ賣ルモ買フモ總  
テ投機ニ出テ賣買ノ名ハアレ氏其實物價ノ高低ヲ賭ス  
ルニ外ナラス爰ヲ以テ定期ノ賣買者ハ始メヨリ物品ヲ  
有セス又代金ノ準備ナク空ヲ以テ始メ空ヲ以テ終リ只  
其間ニ差金ヲ授受シテ利トシ損トスル者大部分ヲ占ム  
故ニ取引所ノ賣買取組高ハ非常ノ巨額ナルモ相場上ノ  
行掛リ又ハ相場ヲ高低セシムル手段策略ノ外ハ一切現  
品ノ授受ヲナササルモノト云フモ不可ナカルヘシ  
右ニ述ヘタル如ク取引所ノ市場ハ總テ投機者ノ左右ス  
ル所トナリ實業機關トナラサルヲ以テ従前有價証券類  
ノ現物取引ヲ目的トスル者ハ不便利ナカラモ各處ニ散  
在スル兩替商店ニ就キ賣買取引スルノ慣行トナレリ蓋

正業者即チ真ノ商工業者ハ取引所ノ門ニ出入シ投機者流ノ人ト相伍スルヲ厭ヒ且ツ取引所ニ於テハ真ノ直取引即チ即時交換的ノ賣買行ハレサルヲ以テナリ今ヤ商工業ノ發達ニ伴ヒ株式會社ナルモノ數多勃興シ從ツテ之カ株式賣買ノ最モ頻繁ナル時機ニ際シ株式機關ノ不完全ナルヨリ中ニハ會社ノ事業其物ヨリモ株式ノ投機賣買ヲ目的トスル偽實業者アリテ我國ノ商工業ハ日ニ空業ニ傾向シ終ニハ工業為ホノ國是ヲ破滅スルノ恐レアルヲ以テ之ヲ真實業者ニ誘フ為メ我東京ノ如キ資本家即チ株券所有者ノ淵業タル首府ニ於テハ實業機關トシテ普通有價証券現物賣買市場ノ必要アルコトハ實業者ノ普ク公認スル所ニシテ昨年来續々現市場ノ出願者アレ氏主務省ニ於テハ何等ノ御趣意ナルカ一概

ニ之ヲ擯斥セラレ一方ニハ東京大阪等ノ株式取引所内直取引ヲ獎勵シ之ヲ擴張セシメテ以テ經濟機關ニ供セラル、モノ、如シト雖氏元未定期取引ト直取引トハ性質様法ヲ異ニシ賣買者其人モ亦異ナレハ定期取引所内ニ於テ真ノ交換的直取引ヲ為シ能ハサルコトハ既往數年間取引所内直取引ノ活歴史ヲ以テ證スルニ餘リアリ殊ニ定期市場ノ理事者ヲシテ兼テ直取引市場ヲ管理セシムルハ恰モ良家ノ子弟ヲ賭博者ノ親分ニ托シ終ニ賭博化セラルト一般ニシテ取引所内ノ直取引カ定期類似ニ流ル、ハ免カレ難キ理勢ナリトス斯、如キ視易キ道理ト取引所ノ真相トヲ解セテレサル主務省ノ處置ヲ怪シ且ツ哀シマサルヲ得サルナリ右ノ如キ有害無益ナル投機的直取引ヲ獎勵セテル、ノ

不可ナルノミナリス今日、如ク小資本ノ會社ノ株式ヲ  
定期ニ撰テ賣買セシムルトキハ其弊ヤ買占品改ノ手筈  
方法容易ニ行ハレ經濟社會ヲ紊亂シツ、アルコトハ世  
人ノ親シク見聞スル所ナルヲ以テ宜シク之カ制限ヲ改  
良シ苟クモ大資本ヲ有スル大會社ノ株式ニ非サレハ定  
期取引ヲ為サシメサルコト、ナレ以テ取引所ノ流弊ヲ  
矯正シ一方ニハ有價證券類ノ普通賣買即チ自由市場ノ  
發達ニ一任シテ實業機關ヲ圓滑ナラシメ其投機ヲ試ミ  
レトスル者ハ定期市場ニ赴キ其現物ヲ欲スル者ハ現市  
場ニ行クカ如キ自然ノ淘汰ニ任セ以テ經濟界ノ秩序ヲ  
保タシムルハ最モ今日、急務ニシテ應サレ當然ノ措置  
タルヲ信ス況レヤ貨幣制度ノ改革行ハレ金貨本位ヲ實  
行スルニ至レハ之ト同時ニ外資ノ大ニ我國ニ注入シ差

向キ諸會社ノ株式ヲ買収セラル、カ如キハ免カレ難キ  
趨勢ニシテ國家ノ經濟ニ一大變動ヲ來サントスル機先  
ニ於テヲヤ

主務省ハ明治二十九年三月省令第一号ヲ以テ自由營業  
ニ拘束ヲ加ヘ出願許可ヲ得セシムルコト、ナレ以テ普  
通有價証券現市場自然ノ發達ヲ抑止セラレタリ今若シ  
人生日用缺クヘカラサル魚類穀物野菜道具等、自由市  
場ヲ禁遏セララル、コトアラハ誰カ其不便ヲ訴ヘサルモ  
ノアラレヤ其日常品ノ根本タル有價證券賣買ノ自由ヲ  
拘束スルハ妨ケナキモノトセラヌ、カ其不便前者ヨリモ  
甚シキ事實アルコトヲ諒察セラレハシ假リニ主務省ノ  
主旨タル自由市場、直取引モ亦遂ニ取引所ニテ演スル  
カ如キ弊害ヲ免カレ難キモノトノ想像ヲ以テ行政上臨

機、處分ヲ施サレタルモノトスレハ、何ヲ以テ唯リ有價  
証券ノ自由市場ヲ檢束シテ米穀其他ノ自由市場ヲ檢束  
セラレサルヤ又既ニ弊害アル取引所内ノ直取引ヲ檢束  
セシテ却ツテ之ヲ獎勵セラレ、形跡アルハ何ソヤ  
若シ取引所内ノ直取引、如ク空物ノ預ケ合ヲナシ代價  
ヲ賭スルモノトスレハ米モ株モ魚菜類モ何ノ擇リ所ア  
ラレヤ抑モ取引所内直取引ノ弊習ハ痼疾ニシテ到底治  
療ノ見込ナク之ニ及シテ普通現市場ナルモノハ今將ニ  
發達ノ初期ニシテ善良ノ性質ヲ亨有ニ組織者其人ヲ擇  
ミ監理宜シキヲ得レハ唯リ實業界ヲ利益スルノミナラ  
ズ社會投機心ノ増進ヲ抑制スル最良ノ器械タルヘシ或  
ハ現市場モ亦投機者流ノ人ノ混入ヲ免カレスト云フ者  
アレハ真ノ直取引市場ニ於テハ賣ル者ハ物品ヲ供出シ

買フ者ハ代金ヲ携帶シテ即時交換スヘキ方法ナルヲ以  
テ真實賣買ノ必要ナク物ノ代價ヲ賭スルカ如キ投機者  
流ノ人ハ始メヨリ立寄ラシメヌ又決シテ立寄ラケルモ  
ノナリ其証左ハ深川正米市場ノ賣買者ト米穀取引所内  
直取引市場ノ賣買者トハ全ク別人種ナルヲ以テ明カナ  
リ  
要スルニ吾々ノ請願スル有價証券現市場ナルモノハ兩  
替商等カ日常各自ノ店頭ニ於テ營ミ居ル業務ヲ其傍  
一ノ市場ニ移シテ之ヲ行ヒ各人奔走ノ勞ヲ避テ賣買兩  
者一處ニ集合シテ彼我ノ便利ヲ足シ以テ實業機關ニ供  
セシト云フ單純ナル旨趣ナリ之ヲ再言スレハ深川ノ正  
米市場日本橋ノ魚市場其他各處ノ青物市古着市モ同様  
ナルモノヲ設立シテ現物ノミヲ取引シ一ハ正業者ニシ

テ現物賣買ノ不自由ヲ感スルノ餘リ止ムナク定期ニ手  
ヲ出シ知ラズ識ラズ投機者流ニ沈淪スルノ弊ヲ矯メ一  
ハ諸會社ノ株式ヲ正實ニ賣買取引シテ投機者ニアラサ  
ル真正ノ株主ノ便利ヲ謀リ以テ現時經濟社會ノ必要ニ  
應セルトスルモノナリ

上來陳述セシ如ク取引所内ノ市場ハ全ク投機者ノ機關  
トナリ實業界ニ益スル所ナキヲ以テ有價証券普通現市  
場ノ設立ハ目下ノ急務ナル理由ヲ明カニセリ尤モ彼  
ノ魚類商、日本橋川岸ニ於ケル古着商、柳原川岸ニ於  
ケルカ如ク同業者軒ヲ並ヘ自然市場ノ景狀ヲ為スニ於  
テハ特ニ市場ヲ設クルノ必要ナカルヘシト雖モ不幸ニ  
モ有價証券類、現物賣買仲次ヲ業トスル兩替商等ハ從  
來各處ニ散在シテ取引ノ便利ヲ得サルヨリ再三再四本

願ヲ呈出スルノ止ムヲ得サルニ出テタルコトヲ偏ニ御  
諒察アラシコトヲ仰フ

東京有價證券現市場創設發起人

明治三十年 月 日





